

2020年

4月5日(日)⇒7月5日(日)

静岡県立芹沢銚介美術館
〒410-0001 静岡県沼津市大田1-1-1 10-5 054-282-5522 www.senbi.jp



セリザワ デザイン

— 和と洋の架け橋 —

芹沢銚介デザイン「花籠」(三宅松三郎商店製)
型染グリーティングカード(芹沢染紙研究所製)



明治 28 (1895) 年、静岡市の中心部に生まれた芹沢銈介。東京高等工業学校工業図案科を卒業後、静岡県工業試験場や大阪府立商品陳列所に勤め、個人的にも様々なデザイン活動をしていました。その20代は大正時代にすっぽりと取りまわります。海外の美術やデザインの動向に強い興味を持ち、おしゃれでモダンな感覚の中に青年期を過ごしたのが芹沢でした。

一方、商家の本店に生まれた芹沢は、日本の伝統をこよなく愛した人でもありました。20代のことから始めた収集も、芹沢を深く日本の伝統に結び付けていたといえます。

染色家としてデビューしてからも、「和」の親しさと「洋」の新しさを融合して、現代日本に違和感なく溶け込むデザインを数多く世に送り続けました。特に戦後間もなくから始めた型染したカレンダーは、季節感あふれる日本のモチーフを多くとり入れながらも、モダンな感覚に貫かれ、国内だけでなく、海外でも高い人気を博しました。型染によるクリスマスカードも、日本の雪国のモチーフに英文のメッセージを違和感なく組み合わせ、和と洋を融合した代表的な仕事といえます。

本展覧会では、そのほかに、ブックデザイン、パッケージデザインなど、250 点におよぶ品々を展示します。なつかしくて新しいセリザワデザインの世界を、どうぞ心ゆくまでお楽しみください。

1. 『貝文着物』(1963) 2. 芹沢銈介作『型染うちわ絵帖』(1971) 3. 『モザイク文』(1968) 4. 型染グリーティングカード 5. 摺りばかしカーテン生地 (1962) 6. 芹沢銈介装幀・式場隆三郎著『ロートレック生涯と藝術』(特装版 1942)

とけあう。和の親しき、洋の新しき。



同時開催

芹沢銈介の収集から 銈介と楽しい仲間たち

展示室の後半では、芹沢銈介が集めた各国の人形や玩具などのなかから、とびきり楽しく愛らしい品々 70 点をご紹介します。花巻人形のだるま、中国の起き上がりこぼし、スペインの土箱「シウレイ」など、思わず笑いがかみあげてくる愉快な仲間たちを特集します。



振子「起き上がりこぼし」(中国)



土人形「獅子」(中国)



花巻土人形「だるま」(岩手県花巻市)



土箱「シウレイ」(スペイン)



獅子「虎」(日本)

開館時間 9:00 ~ 16:30 (全館閉館)

休館日 毎週月曜日(5/4は開館)、4/30、5/7

観覧料 一般420円/高校生・大学生260円/小学生・中学生100円/未就学児無料
(団体割引は30名以上でご利用いただけます) ※静岡市内在住または静岡市内の小・中学校に在学中の方は無料 ※静岡市内在住70歳以上の方、身体障がい者手帳等の交付を受けている方との介助者1名は無料

芹沢銈介 生誕125周年 2020年5月13日(芹沢銈介の125回目の誕生日)にご観覧いただいたお客様には、もれなく絵はがきをプレゼントいたします。

静岡 芹沢銈介美術館 静岡市駿河区登呂五丁目10-5(登呂公園内)
TEL:054-282-5522 <https://www.senrib.jp>

【バス】静岡駅南口22番バスのりばから「登呂遺跡」行き乗車、約12分終点下車
【タクシー】静岡駅南口から登呂公園へ、約10分
【東名高速】静岡 I.C. より約10分、日本平久能山スマート I.C. より約5分

【駐車場】登呂公園南側に有料駐車場があります(普通車 400円/1日)



国道150号